



4月の園だより

2024年4月1日発行

ご入園・ご進級おめでとうございます。

春の暖かな日差しの中、保育園のお庭にも色とりどりのお花がたくさん咲いて、みんなの新しい生活をお祝いしてくれているように感じます。

4月より、新しい子ども達と先生をお迎えして、新年度がスタートしました。

1つ大きなクラスとなり、なんだか子ども達の顔つきも少したくましくなったように思います。きっとドキドキ・わくわくするとともに、不安な気持ちもあると思うので、一人ひとりに寄り添い丁寧に寄りながらゆっくりと新しい生活に慣れていってもらえるようにしていきます。

お友達や周りの人へ相手を思いやることのできる優しい豊かな心を育み、健やかな身体を育て、保育園の生活を楽しく意欲的に過ごしていけるよう、職員一同工夫し努力してまいります。

今年度も、どうぞよろしくお願い致します。

中宮まぶね保育園 園長 山本 真理子

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	<p>今年度より英語教室の委託先が変わります 「バナナイングリッシュ」より外国人の先生をお迎えして、2-5歳児クラスを対象にレッスンをさせていただきます♪</p>			



あたらしく入園したおともだち

「新しい歌を主に歌え」
(詩編96編1節)

新年度が始まりました。新しく入園したり、一つ大きくなって進級したり、それぞれの新しい生活が始まったことと思います。新しい生活には、期待と同時に不安もあるかと思いますが、でも園にはたくさんのお友だちも、先生たちもいますから、子どもたちはきっと少しずつ慣れていってくれることでしょう。

保育園での生活には、毎日たくさんの「歌」があります。字が読めなくても、言葉の意味が分からなくても、それでも歌は子どもたちの耳から入って、いつの間にか口から出るようになるので不思議です。世界中を見回しても、文字を持たない民族はあっても、歌のない民族はありません。日本や中国では、日々の生活の中で生じる感情、嬉しいことや悲しいことなど、様々な気持ちが自然と口からあふれ出たのが歌であると昔から言われてきています。「新しい歌を主に向かって歌え」というこの聖書の言葉の後には、「日ごとに救いの良い知らせを告げよ」という言葉が続きます。これは言い換えれば「今日も、生かされている喜びを表そう」ということ。

新しい生活の中では、思った通りにはすぐにはうまくいかないこともあるかと思いますが、悲しいことがあるのも、嬉しいことがあるのも、それらを体験したり感じられたりするのには生きているからです。「いつでも神様が一緒にいてくださるから、きっと大丈夫」。神様とまわりのみんなに守られながら、また新しい日々が始まっていきます。

チャブレン・牛田匡



4月うまれのおともだち

新年度職員体制

本年度もどうぞよろしくお願い致します。

園長：山本 真理子

副主任保育士：

ほたるぐみ(0歳)	
ちょうちょぐみ(1歳)	
こおろぎぐみ(2歳)	
てんとうぐみ(3歳)	
みつばちぐみ(4歳)	
とんぼぐみ(5歳)	
ひまわり(延長保育)	
調 理	
用 務	
保 健	
事 務	

よろしくお願ひします!

お世話になりました!

【園からのお願い】

- 送迎の際、保護者は必ず吊り下げ名札を着用してください。
- 保育園は午後7時に閉まります。帰りの準備をして午後7時には園を出るようお願いいたします。
- 布団などは毎週末持ち帰り、天日干しをして週明けにお持ちください。